

第6次総合計画の策定にあたっての基礎調査等について

1. 人口推計

- ・ 住民基本台帳の人口を用い、コーホート要因法により推計した。
- ・ 生残率及び純移動率は、社会保障・人口問題研究所が公表した値を用いた。
- ・ 合計特殊出生率については、過去の実績をもとに今後の動きを予測し、「今後15年間は緩やかに減少するが、その後は15年目の値が継続する」とものと仮定し人口推計を行った。(R12: 1.2469、R17: 1.2109、R22以降: 1.1749)

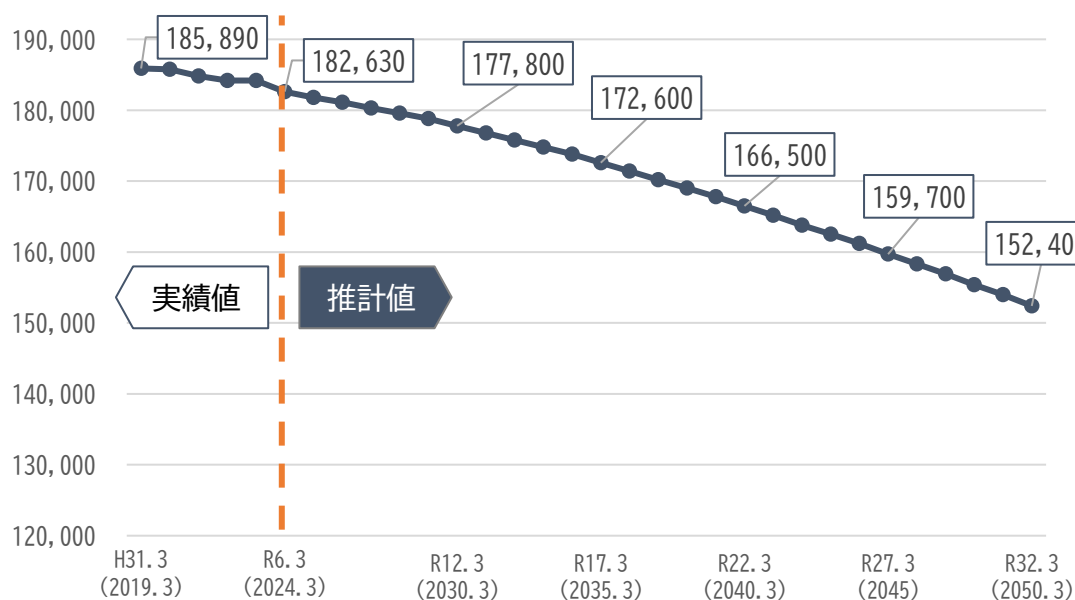
※コーホート要因法…人口推計を行うスタンダードな方法で、社会動態と自然動態の2つの変動要因に基づいて将来人口を推計するもの。

※生 残 率…n歳の人間がn+5歳まで生き残っている確率

※純移動率…転入者と転出者の割合。転入超過であれば正の数、転出超過であれば負の数になる。

※合計特殊出生率…15～49歳の女性の年齢別出生率の合計。女性が一生に産むこどもの数の推定値となる。

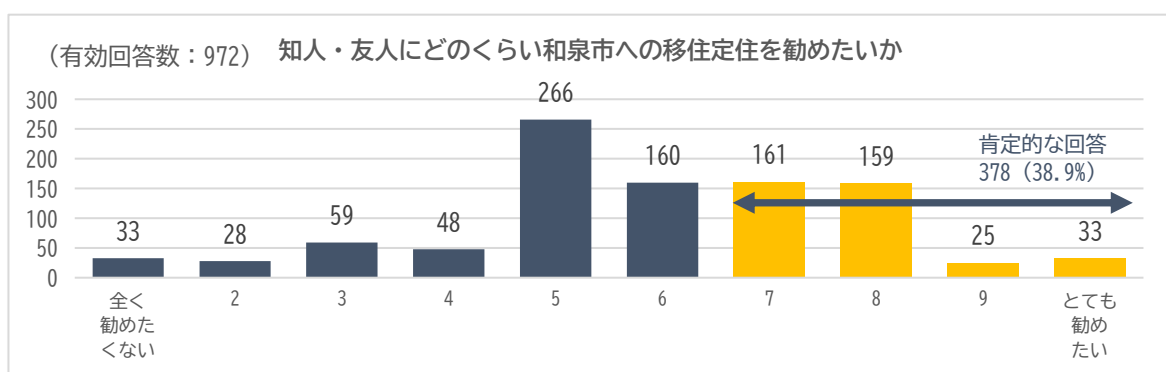
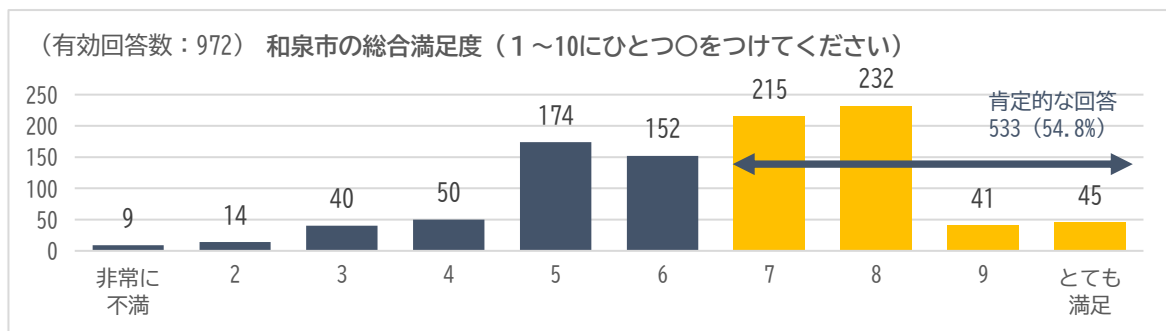
本市の推計人口



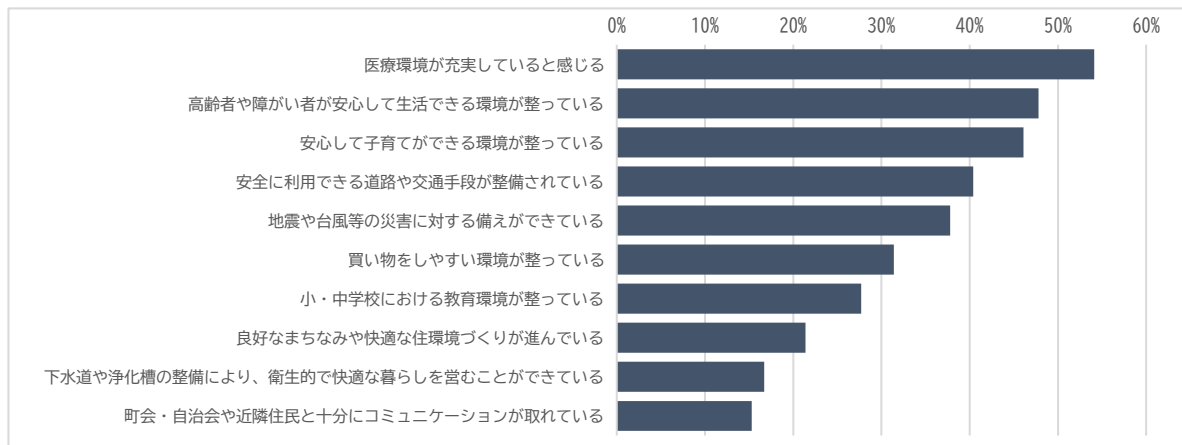
	R6.3 (2024.3)	R12.3 (2030.3)	R17.3 (2035.3)	R22.3 (2040.3)	R27.3 (2045.3)	R32.3 (2050.3)
本市推計	182,630	177,800	172,600	166,500	159,700	152,400
(対 R6.3 増減率)	(実績値)	(▲2.64%)	(▲5.49%)	(▲8.83%)	(▲12.56%)	(▲16.55%)

2. 市民アンケートの結果

■ ①市民アンケートの単純集計結果（抜粋）



Q14 日常生活やまちづくり項目の中から、最も重要だと思う項目を5つまで選び、その番号を書いてください。



【 得られたキーワード 】

健康と福祉

安全・安心

道路・交通手段

子育てと教育

住みよさ（公園等）

⇒ 市民目線では、**生活のしやすさ** や **安心感** が重要視されている。

■ ②LINEアンケートのクロス集計結果（抜粋）

「これからの和泉市をどんなまちにしたいか」の設問について、各年代別の上位3位に着色した結果、高齢層は「健康と福祉」に、50歳以下は「子育てと教育」に特に関心が高いことがわかった。また、いずれの世代も、「住みよさ」「安全・安心」を重視していることもわかった。

これからの和泉市をどんなまちにしたいか（最大3つまで回答）

	全体	年代別								
	合計	-20	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	不詳
健康と福祉のまち	1,050	3	18	70	150	254	254	239	55	7
住みよいまち	975	5	47	154	161	210	201	162	30	5
安全・安心のまち	924	3	28	99	161	200	213	184	27	9
子育てと教育のまち	734	6	46	202	172	106	105	80	13	4
にぎわいのまち	433	3	18	59	76	102	84	74	11	6
文化と生涯学習のまち	269	5	6	20	39	47	63	73	16	0
スポーツ・レクリエーションのまち	237	1	11	32	46	46	49	42	10	0
誰一人取り残さないまち	157	1	2	7	28	32	44	33	8	2
協働のまち	149	1	3	14	32	31	30	30	8	0
デジタル技術を活用したまち	134	1	10	24	38	27	21	10	3	0
観光のまち	107	2	7	11	19	26	18	16	7	1
地球環境保全のまち	84	2	2	7	8	18	22	19	6	0
わからない	6	0	1	1	1	2	0	1	0	0
その他	22	0	0	7	3	6	3	2	0	1
回答総数	5,281	33	199	707	934	1,107	1,107	965	194	35

3. 学識ヒアリングの結果（主な意見の抜粋）

本市の強み	本市の課題
<ul style="list-style-type: none"> 泉州内で都会と田舎が融合しており暮らしやすい。 都心から近くアクセスが便利 比較的規模の大きな病院が複数存在している。 職住近接を実現できるポテンシャルがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ニュータウンは今後高齢化を迎えるので対策が必要 アクセスは便利だが、とはいえ通勤に時間がかかるため若者世代が流出してしまう。 地域での助け合いの仕組みが薄れているため、新しい形でのコミュニティ形成を促す仕掛けが必要

[得られたキーワード]

トカイナカ

都心へのアクセス

職住近接

若者流出

コミュニティ

⇒ 学識目線では、市民の自発的な **地域コミュニティ活動** の促進や、**職住を一体的**に考えた転出抑制が必要。